



## 定期総会・新年会 新役員選出も

2月13日(日) 県人会第46回定期総会・新年会が県人会ホールにて行われた。

高橋凡児副会長の司会により開会宣言。開拓先没者へ黙祷、次いで千田会長から総会開会の挨拶があった。折から母県からの旅行者中平正明さんが紹介された。

議長に多田理事を選出。藤沢裕理事、田中由希子理事を書記に、多田マウロ理事、昆野ワシントン理事を議事録署名者に、出席者確認後議事進行。

藤沢理事から事業、昆野理事が会計、高橋昭二郎理事から監査報告があり、05年度行事計画案、予算案等が提示された。

また理事会提案として会費の調整(60リアル)、会館賃貸料の調整が提示され、特に質疑応答は無く全て計画案通り承認された。そ

して移住100周年に「移民の父」と言われる駐伯三代公使、岩手の人「杉村濤氏」の墓地改修案が了承された。

役員改選では、高橋信夫理事から法定の連名候補者リスト(14名)が発表され全会一致で承認された。選出された千田会長から初めに戻り新役員諸氏一同と共に尽力したので会員皆様のご協力を頂きたい旨の要請があり、また名誉会長、顧問、相談役、内規により理事、部責任者など後ほど発表すると挨拶があった。

新年会たけなわには参加者100名を越え盛大な宴会が行われた。何時ものように料理は会員の持ち寄り、飲み物、刺し身は会提供、また金宝丸提供の丸ズワイ蟹スープ、盛り沢山の丸茹でした蟹がテーブルを飾り、のど自慢のカラオケで祝い、午後3時過ぎ散会した。

## (2005 - 2006) ブラジル岩手県人会新役員名簿

(*印は2世・3世)	☆理事	佐々木 憲輔、千葉 直義、高橋 義見、大志田 寿、*児玉 道義 ミルトン
☆名誉総裁 南部 利昭 (岩手)		*児玉 剛一 マウロ、高畑 修一、塚田 修吾、
☆名誉会長 菊地 義治		*高橋 宏二 カルロス、*山口 しのぶ セシリア
☆顧問 田口 信二、渡辺 保、熊谷 泰志		*巽岩 毅、*渡辺 正
☆相談役 安倍 儀郎、栃沢 千秋	☆地方理事	菊池 達郎、藤堂 勝次、猫塚 司
亀ヶ沢 梅吉、千田 マサ		*村松 弘一、岩船 貢
☆会長 千田 曠暁	☆青年部長	多田 孝則 マウロ
☆副会長 *多田 孝則 マウロ、高橋 凡児、藤村 光夫、	副部長	昆野 昭仁 ワシントン、阿部 孝司 アイレス
☆書記 藤沢 裕、*峯 きよこ ソフィア	☆婦人部長	千田 まさ
☆会計 *昆野 昭仁 ワシントン、*阿部 孝司 アイレス	副部長	*藤村 はるみ
☆監査役 高橋 昭二郎、及川 益夫	☆事務局長	山道 慶大
*田口 晃記	☆特別協力	
監査補 *高橋 信夫、伊藤 春野		石井 紅夫 (会報の文字校正) 畑 勝喜 (映像記録)
高橋 万右衛門		矢野 久 (経理相談) 山田 幸孝 (法律相談)

### 会費について

県人会「年会費」は先の総会において下記の通り決まりました。会費は数年前置きでしたが諸経費の高騰もあり調整をさせて頂きました。

会費は県人会運営上、収入の重要な比率を占めております。会員は新民法により会が定めた会費納入の義務が生じ、同時に運営や活動への参加権利を得ます。

また、お知らせや会報の送付を受けるなど、詳しくは総会前に皆様にお送りしました新定款をご覧下さい。一応、早払い遅払いの不公平を防ぐため以下のようにさせて頂きました。

☆ 6月末まで納入者は 60 レアル

☆ 7月からは 65 レアルとなります。

尚、割引制度もあり、また会員として長年尽くされ、高齢で行事に参加出来ない、或いは会費も払っていない人でも今まで通り、会報やお知らせなど発送致したいと思います。もし亡くなられた場合にはご面倒でも県人会へご一報下さい。

### 賛助会員に 八重樫元岩泉町長

去る20日熊谷氏宅を訪問したおり、2、3日前「八重樫協二」氏から電話があり、県人会賛助会員に入会したと連絡。県人会にとって嬉しい朗報があった。賛助会員は累計40名となりました。

## 厄払い誕生会

2月13日夕刻より当会館で、多田マウロ副会長の41歳（2月5日生れ）厄払い誕生会が、親戚、友人、青年部やOB等、多数の関係者でお祝いした。

同氏は1985年海外技術研修生として岩手県で電気技術を習得。目的達成のため一時日本就労も体験、現在ではTelesp電気技術者として活躍。

傍ら県人会活動にも参加、県人会ニュース、ポルトガル語版にも力を入れている。

他の若い人々と共に当県人会次世代継承を担うリーダーです。



マウロさんの誕生日を祝った人々・ケーキを前にパラボンスを

### 青年部

## 海浜ピクニック

昨年より計画されていた、海浜ピクニックが2月25日から27日にかけて実施された。

場所はポラッセイア海岸（サンパウロから約130キロ）のコンドミニオ内別荘（プール付き）。

久しぶりの海やプールに子供たちは大はしゃぎで参加者は計19名であった。



海浜にて

## 中平さん

2月5日（土）夕、岩手からの旅行者中平（なかたいら）正明さんがヒョッコリ県人会を訪ねて来た。

聞くとリオからサンパウロへ、カーニバルを見物の意向だったが入場券無しで断念。

6日千田、藤村、多田理事家族など「じく祭り」、果樹園視察、イソー市の県に案内。遠くはイグアスの滝を見学した

その他滞在中役員皆さんの善意による広場でのコミュニケーション、市営中央サントス海岸等々と案内した。じっくり見学出来大変良かった。また来ます。

中平さんはブラジルが初の海外旅行で、念願が叶ったと言っていた。また県人会があり心強かったようである。28日の便で帰国。



中央が中平さん

### 元気です

## 和美さん



熊谷夫妻・和美さん・千田夫人

2003年4月、和美智子さんはJICAボランティアとして、パラナ州パラナグア文化協会に着任。

地元文協にて日本語教育や文化の紹介等積極的な活動をされている。

派遣期間は2年間で3月23日帰国を前に、親戚で岩泉町出身の熊谷泰志氏夫妻を訪問。千田夫妻も合流し夜遅くまで懇談した。

## 2006年度

### 留学生研修生募集

県人会では2006年度県費留学生・研修生を募集致しております。3級以上の日本語能力が必要です。希望者は事務所へ。

#### 会費納入者名 (敬称略) (2月納入者) 年額 60

上村恵子	和田司	高橋好子	石井紅夫
山道慶大	伊藤春野	塚田修吾	野村タカ
多田登	多田孝則マウロ	高橋昭二郎	田中キヨ
藤沢裕	大森仁太郎	千田曠曉	千田まさ
高橋万右衛門	千田みやこ	野崎寿美子	三部喜栄
渡辺美智子	阿部正司	阿部孝司アリス	大原あや
高山フジ	泉政秀	亀ヶ沢梅吉	高橋凡児
菊地達郎	高橋はるこ	佐々木栄	田口ヤス
千葉キク	高橋巳之吉	畑勝喜	小田久馬
千田輝海	吉田美巳	野村輝子	及川コキ
高橋義治	平野マリア	平野トキオ	平野ヨゼカルロス
裊岩毅	児玉剛一	後藤妙子	戸来キミ
太田良穂	佐藤さみ	大崎孝行	裊田重夫
清水宮路	村松弘一	高橋信夫	児玉 勲
児玉道義ミルトン	武田つる子	中野ミサ	昆野昭仁フアンソ
昆野とし子	藤木輝子 (計62名累計77名)		

## お知らせ

### 高齢者懇親会歓迎会

4月17日(日) 午前11時より第28回高齢者懇親会が行われる予定です。尚、当日岩手から「南部美人」蔵元で製造部長「久慈浩介氏」が来伯予定で併せて歓迎懇談会も予定しております。

### 東北ブロック運動会

5月15日(日) 東北ブロック青年部主催による第3回運動会が、オザスコ日会 (ACENBO) グランドにて行われます。

### 賛助会費納入者名

三澤 緋紗子 様

### 寄付 寄贈

☆ 後藤 妙子 様	50	リアル
☆ 河村 武雄 様	100	リアル
☆ 岩見 士郎 様	30	リアル
☆ 毛利 静男 様		図書 徳川家康 その他
☆ 氏家 邦子 様		図書 沈まぬ太陽 その他

### 訂正

- 会報125号の寄付寄贈にレーザー・カラオケ6枚は岩崎雄亮様からでした。ここにお詫びを申し上げ、訂正いたします。

## 県人会の動き (2005年2月)

- 3日 花巻市国際交流室、金ヶ崎町あて子供たちの作品交流についてFAX
- 4日 今夜からブラジル国民最大のお祭り「カーニバル (Carnava 2005)」始まる。
- 5日 旅行者、岩手は陸前高田市出身の「中平正明」さん(26)が来館。月末まで滞在予定。
- 7日 会報125号の構成作業。
- 10日 山道事務長所用で外出、高畑理事代勤。  
☆ 藤村副会長図書整理。
- 11日 定期総会書類作成。
- 13日 ブラジル県人会第46回定期総会・新年会開催。出席者100名を越える。尚当日若い人の提案で会員一人一人の写真撮影が行われた。
- 14日 会報125号ニッケイ印刷へ下版。
- 15日 金ヶ崎町教育長、同町長、花巻市へ子供の作品交流についてFAX送信。
- 16日 カーニバル特集号を県庁、国際交流協会、花巻市、金ヶ崎町、菅原圓雄市などへ発送。千田会長は吉田重雄氏、有住辰志氏へ別送。  
☆ 昨日に引き続き会報グラ刷り校正作業。

- 17日 パソコン兼用Multi Funcional lesel 3030コピー機購入。
- 18日 県より定期刊行物受領。  
☆ 東北7県青年部運動会準備会合が当会館で。出席は昆野、エミリア、エレナさん。
- ☆ 花巻市国際交流室係長布臺一郎氏より、日本まつりへ児童作品の協力をしたい旨来信有。
- 21日 日伯交流協会より研修の金谷花江さん(大東町生まれ)リオから旅行中との絵葉書。
- 22日 会報発送を藤村、石井、中平の諸氏と清水宮路さん及び山道夫人が手伝う。国内303通、国外97通発送。  
☆ 県連日本まつりスポンサー会議に会長出席。
- 23日 県連執行部会へ千田会長出席。
- 24日 岩船信一夫妻(賛助会員、昨年9月来伯)は都合で一時帰国されると挨拶に来館。
- 24日 3月度役員会案内状発送。
- 25日 県連代表者会に千田会長出席。議題は日本まつり、移民100周年、日系人実態調査、ふるさと巡り、定款改正など。  
☆ 夜、青年部員ボラッセイア海岸へ出発。

- ☆ 岩手カラオケ愛好会は毎月曜日正午より練習を行っております。
- ☆ 太鼓教室は毎土曜日、生徒が増えて2部制導入。午後5時より行われる事になった。

# アマゾン及び北伯への旅

下記は、当会副会長藤村光夫氏が実兄秋夫氏（静岡在、賛助会員）と共に、2003年9月18日から10月10日迄、23日間、合計1万2千kmに及ぶ大スペクタクルな興味ある、アマゾン・北伯の旅特集です。数回に分けて連載致します。

旅程は陸路9235km、水路3000km、費用は一人当たり 2215 レアイス（現在値で約9万円）とは、どんな旅でしょうか。以下本文をご覧ください。

## フーチャン



左が藤村秋夫さん

九月十一日米国人にとっては痛ましい日（ニューヨーク・テロ事件）と同じ日に待ちに待った伊豆高原在住の兄藤村秋夫がサンパウロ国際空港クンビッカに無事到着した、聞くところによれば旅客にキャンセルが出てそれで早めに来れたとの事。

この特別の日によこそと言ったところ今日は自分の誕生日だと言う。

ともかく旅の疲れを癒し、アマゾン下りを実行しよう。実は五年前にベレン市を訪問した際、直接のフライトが無くマナウス市経由で飛んだが、真っ昼間アマゾン川の上空を飛びこの次は船で下ろうと約束したのである。一昨年の船旅はそのリハーサルで今回の本番と言う訳である。

今回はあくまでも市街地には関心を持たず、専ら気候風土植生観察に専念しようとの意見の一致を見る。

兄は以前アフリカ旅行をした際に人類発生の地とされる大地溝帯を見て来たが、今回は赤道を越えて出来れば現代版グレートジャーニー（人類の旅）最終の地パタゴニア最南端の町ウシュアイア（南緯五五度）まで、陸上水上の旅を南半球縦断の形で実現させねばならない。

### サンパウロからポルトベリヨ迄 （三千七十キロ）

今回は先ず前半のサンパウロ以北へ例によって縁起の良

い二〇〇三年九月一八日（木曜日）にバスで出発する、別にな変わった事も無く旅を続けた。（アンダーラインは後記参照）

ゴイアス州の高原地帯のセラードでは最近綿の栽培が多くなっているが、未だにシートを被せて畑の中に収穫物を置き放しにしている、製綿業者が収穫時には足元を見て値下げをするが、農家はその値上がりを待って居るのか、或いは製綿工場の処理能力が足りないのか、火でも点けられたら危ない話である。 Rondノポリス市では摂氏四二度の表示で度肝を抜かれる、いよいよ熱帯だ。

この国道三六四号線はクイアバ地方のセラードの穀物をポルトベリヨ迄陸上輸送し、更に水上輸送で運送するのであるが、大豆を積んだトラックが通る為かなり痛んでいる。

どの程度セラードが開発されているか、道路からはよく見えない、次回は空から見よう、低灌木林の開墾は大型機械で簡単



穀物輸送船

に出来るためかなり開発されていると思われる。

ポルトベリヨ市は知る人ぞ知る、現在の日産自動車社長カーロス・ゴーン氏の生まれた所である。祖父は当時オスマントルコ帝国のもとにあったレバノンの貧困な山村に生を受け、一九世紀末に十三歳でブラジルに移住した。初代二代目と商業に従事し子供の教育の為二代目だけがポルトベリヨ市に残り、レバノン、パリへと移った、カーロス氏はフランスの大学を卒業し、国際的企業人カーロス・ゴーンが誕生したのである。

スペクタクルな旅特集・つづく